

- 所有者や境界が分からない森林の増加や担い手の不足、放置森林による近隣への被害が課題となっている。
- 令和5年度に作成した森林のゾーニング図における緊急整備エリアから順に、地番参考図を整理。

□ 事業内容

森林地番参考図整理業務

- ・ 対象地区全15林班の地番に係る傾向と今後の地番情報管理について、各林班毎に総括表の作成。

【事業費】10,340千円（うち譲与税10,340千円）

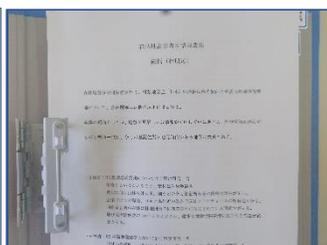
【実績】対象地区の全15林班における総括表の作成。

□ 取組の背景

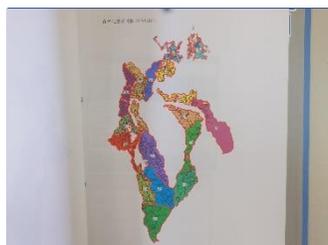
- ・ 林業の低迷や森林所有者の高齢化・世代交代などにより森林管理の不十分さや所有者情報の不明確さが浮き彫りとなっていることにより森林経営計画法が施工され、市町村には森林所有者と林業経営者をつなぐ役割が求められる背景がある。



（報告書）



（資料の一例）



（資料の一例）

□ 工夫・留意した点

- ・ 地番参考図データに森林簿・航空写真等による林相区分の情報を属性データとして付与を行なった。
- ・ 公図の不整合（地図と謄本）については、不明地番リストとして作成を行なった。

□ 取組の効果

- ・ 林班毎の傾向が総括表から一目で読み取れるようになったことで、今後の計画を立てることができ、円滑な業務遂行が可能となる。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：28,075千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190,658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 岸和田市では、アドプトフォレスト活動やまちづくり協議会の自然保全活動が盛んになってきているが、活動エリアに通じる進入路が手つかずの状態、管理や自然保全活動の拡大が困難となっているのが課題となっている。
- 継続した管理、活動を推進するため、進入路等の整備を実施。

□ 事業内容

丘陵地区整備事業進入路整備工事

- ・ 各種活動を継続するうえで重要となる活動地までの進入路や伐採木などの搬出路の整備。

【事業費】 9,374千円（うち譲与税9,374千円）

【実績】 伐採工 2,400㎡

舗装 188m（1,030㎡）

□ 取組の背景

- ・ 樹木、竹林の適切な管理ができていなかった
- ・ 自然保全活動などに関心のある企業や団体が活動場所として望まれている。

□ 工夫・留意した点

- ・ 周辺で活動している、団体や企業と協議し、森づくりについて協議しながら進めた。
- ・ 過度な整備にならないように舗装を最小限にとどめた。

□ 取組の効果

- ・ 進入路が確保できたことにより、伐採活動や植樹活動がさらに活発になった。
- ・ チッパー等の搬入ができるようになり、伐採木や伐採竹のチップ化も実現した。
- ・ 竹伐採に伴い、周辺に日が差し込むようになった。



（整備前）



（整備後）



（整備後の活動）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：28,075千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190.658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 昨今、適切に管理されなくなった森林が増加しており、林道上における樹木の倒伏等が多発している。
- 岸和田市の主要林道である林道牛滝線と林道本谷線を対象に、林道沿いの樹木を毎木調査。

□ 事業内容

主要林道毎木調査

- ・ 主要な林道沿いの毎木調査を行ない、危険木の有無を調査。

【事業費】 2,255千円（うち譲与税2,255千円）

【実績】 林道牛滝線および本谷線沿いの毎木を調査。

牛滝線 549本

本谷線 188本

□ 取組の背景

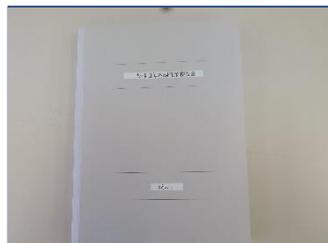
- ・ 適切な森林の管理がされていないことで、倒木による道路の封鎖や近隣への被害が増加傾向にある。また、新たな森林経営計画の策定を検討するも、林道の安全確保の面で支障が出ている。

□ 工夫・留意した点

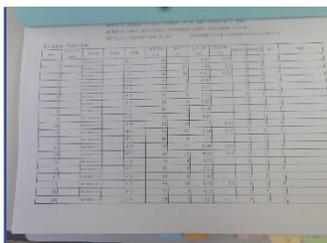
- ・ 毎木調査を行なうにあたり、「危険な樹木が点在している。」とするのではなく、調査範囲をA・B・C・Dのグループ分けを行ない、また枯死度合いや作業難易度に併せて点数化することで可視化することができ、伐採業務を行なう際の優先度を明確化した。

□ 取組の効果

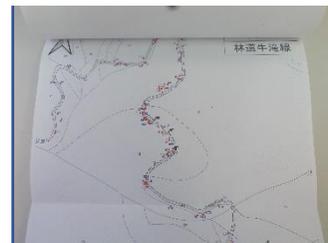
- ・ 林道の安全確保や新たな森林経営計画の策定を検討するにあたり、今後の伐採業務が明確となった。



（成果品）



（資料の一例）



（資料の一例）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：28,075千円	②私有林人工林面積（※1）：1175ha	
③林野率（※1）：26.7%	④人口（※2）：190.658人	⑤林業就業者数（※2）：8人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より